

2018 日年伊吹山山頂セイヨウタンポポ除草活動報告

2018年6月26日

1. 集合場所 H30年5月25日(金)伊吹山ドライブウェイ自販機前 AM9:00集合
H30年6月1日(土)ジヨイ伊吹 AM8:40集合
H30年6月5日(火)伊吹山ドライブウェイ自販機前 AM9:00集合
H30年6月7日(木)伊吹山ドライブウェイ自販機前 AM9:00集合

2. 作業実施 5月25日 AM9:45~PM2:00
6月1日 AM9:45~PM2:00
6月5日 AM9:45~PM2:00
6月7日 AM9:45~PM1:00

3. 作業人数

参加人数	5/25	6/1	6/5	6/7	
伊吹山もりびとの会人数	7名	17名	7名	5名	36名
一般公募ボランティア人数	0	18名	0	1名	19名
合計人数	7名	35名	7名	6名	55名

4. 除草重量 (除草セイヨウタンポポの水分の含有量より重量の変動があり単純に評価
きない)

	5/25	6/1	6/5	6/7	合計
除草重量	12.8kg	86.2kg	16.9kg	7.2kg	123.1kg

5. 定点調査区の株数 西洋タンポポの除草を行い翌年の株数

《対山館南側(2.2m×7.7m=16.9㎡)区域》

定点調査日	株数	対25年比
H30年6月1日	28株	22%
H29年5月27日	30株	24%
H28年5月21日	38株	30%
H27年5月23日	64株	51%
H26年5月24日	82株	66%
H25年5月25日	125株	100%

6. 所見

定点調査区では、セイヨウタンポポは年々減少し駆除活動の成果が上がったと思われ
れます。

このことから、貴重なイブキタンポポを守るための育成区域の保護対策が急務と考

えます。

当会は、イブキタンポポが種を落とした後、育成区域のセイヨウタンポポの駆除を行い発芽と生育を促す方法が最適と考えており、最適な時期に除草を行うことを提案します。

人が踏み込まない保護区を設定することは、背の高い草本が繁殖して背の低いイブキタンポポの衰退を促すことは言うまでもありません。

今後育成区域内の高茎草本の除草してはどうかと考えます。

7. 要望事項

セイヨウタンポポの繁殖を食い止めるためには根気よく継続して駆除することが重要と考えており、来年以降の継続実施について理解とご支援をお願いいたします。

現在駆除活動は、伊吹山もりびとの会と当会の一般公募したボランティアの参加者で活動を行っていますが、多くの人の手を必要とすることから大学生、高校生、また、レイカディア大学のカリキュラムに組み入れていただくことをお願いするなど官民一体となり多くの方々の参加拡大を検討していただきたく要望いたします。

平成30年6月15日 伊吹山もりびとの会



6/1 除草イベント参加者



除草した西洋タンポポの根茎



山頂の除草



西登山道の除草